

## 1 2. 令和6年度 神奈川県てんかん地域診療連携体制整備事業活動報告

聖マリアンナ医科大学病院てんかんセンター

センター長 清水 直樹

副センター長 太組 一朗

てんかん診療支援コーディネーター 石丸 貴子

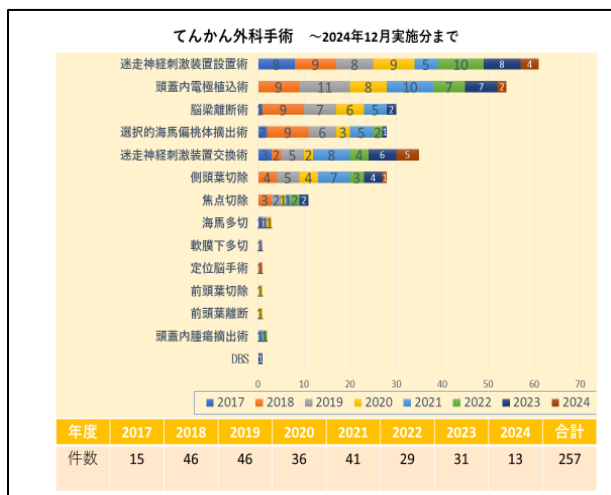
### 1. 神奈川県てんかん支援拠点病院としての取り組み

神奈川県支援拠点病院では、令和6年度も引き続き難治てんかん患者への高度な治療の提供、複数科からなる包括的な医療の体制の整備、専門医・コメディカルの育成等を行ってきた。また、拠点病院を中心として、てんかん診療に関わる医師、政令市代表、精神保健福祉センター、医師会、労働局、SW、患者、家族等をメンバーとしたてんかん医療・社会連携協議会を運営し、県民に向けて普及啓発活動や医療、福祉関係者への研修等を行ってきた。ホームページや行政の広報、新聞等のメディアを通じて、拠点事業やてんかんセンターに関する情報発信にも力を入れている。前年度から包括的てんかん専門医療施設に認定され、引き続き神奈川県てんかん診療の拠点施設としての役割を担う。

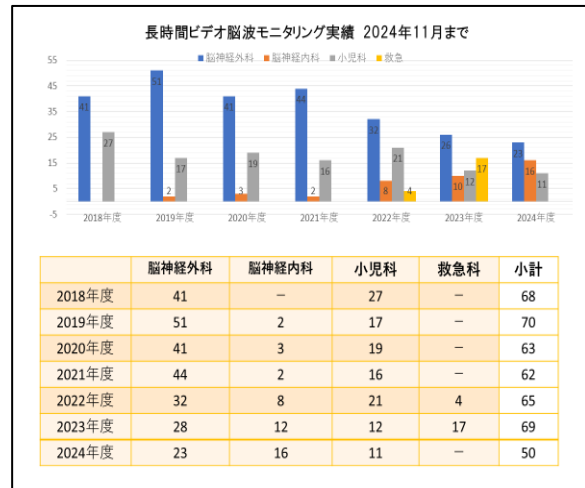
### 2. 支援拠点病院診療実績

てんかん外科手術：2018年度45件、2019年度45件、2020年度33件、2021年度44件、2022年度29件、2023年度31件。内訳は（資料1）。長時間ビデオ脳波モニタリング：2018年度68件、2019年度70件、2020年度63件、2021年度62件、2022年度65件、2023年度69件。（資料2）。今年度は12月までで、てんかん外科手術13件、長時間ビデオ脳波モニタリング50件となっている。てんかん外科手術、長時間ビデオ脳波モニタリング共に年間を通してコンスタントに実施している。今年度からDBSを開始した。てんかん受診外来患者数（延べ人数）：2018年度17,126人、2019年度16,354人、2020年度14,658人、2021年度15,950人、2022年度16,071人、2023年度15,691人。入院患者数（延べ人数）：2018年度358人、2019年度485人、2020年度407人、2021年度433人、2022年度439人、2023年度518人。紹介件数：2018年度422件、2019年度442件、2020年度420件、2021年度462件、2022年度444件、2023年度481件。2020年度はコロナの影響で患者数、紹介数が減少していたが、2021年度以降は増加している。紹介患者に関しては、川崎市、横浜市から多数を占めるが、横浜市、川崎市以外の地域からの割合も増加傾向にある。紹介元の医療機関数は2018年度の255施設を起点として2019年度には168施設増加、2020年度には135施設増加、2021年度には102件、2022年度には227件の新たな施設から紹介があり、5年間で延べ774施設となっている。てんかん診療支援コーディネーターが担当しているてんかん相談件数については2018年度100件、2019年度275件、2020年度180件、2021年度は207件、2022年度は256件、2023年度は304件となっている。今年度は11月までで177件と前年度よりは減少しているが、てんかん相談窓口はインターネットで情報を公開しているため、相談者の居住地域は広範囲にわたり、県外からの相談も多く内容も多岐にわたる。

（資料1）



（資料2）



### 3. 啓発活動

神奈川県では、例年通り年2回の「てんかんの研修会・市民公開講座」を実施しており、1回目は11月23日に実施済みで、2回目は3月16日に実施する。今年度から会場での実施を再開し、11月は対面で行った。また、YouTubeを使用し、オンデマンド視聴も可能にした。今年度1回目の「てんかんの研修会・市民公開講座」では、研修会で就労について、市民公開講座ではCBDや最新治療をテーマに講演を行った(資料3)。専門医の講演に加え、実際事業所で支援を行う専門家を招いて講演を実施し、参加者や講師を交え活発な意見交換がなされた。3月には2回目の「てんかんの研修会・市民公開講座」の実施を予定しており、「小児てんかん」をテーマとしたプログラムを組んでいる。(資料4) また、毎年実施しているパープルデーライトアップについても、3月に例年通り行う予定となっている。(資料5) 県内7施設での実施を予定しており、こちらもYouTubeを活用した、映像の配信を行う。協議会で公式エクス(旧Twitter)アカウントを作成しており、随時最新情報の発信を行っている。パープルデーの写真を撮影して、エクスで投稿してもらい、パープルデーを盛り上げるよう、呼びかけている。

### 4. 協議会

てんかん診療に関わる医師、県、政令市の代表、精神保健福祉センター、医師会、労働局、SW、患者、家族等をメンバーとしたてんかん医療・社会連携協議会を年2回実施している。(表1)今年度は8月に行い2回目は年度末の3月に実施を予定している。協議会では事業の実施計画や報告、啓発の方向性や、県内のてんかん診療連携の問題点等、様々な議題を取り扱っている。ここ3年ほどはZoomを使用しオンラインで会議を行っている。協議会のメンバーに県や政令市の担当課長や労働局の担当者等が加わっていることで、行政の協力が得やすい点は、本事業における最大のメリットであり、利点を生かして今後も事業を進めていく。

### 5. その他取り組み

てんかん診療支援拠点機関の役割として、複数診療科、多職種による包括診療を行う環境整備が求められており、当院では医師、看護師、コメディカル等多職種をメンバーとするてんかんセンター運営委員会を年3回開催している。また、複数科の医師、コメディカルが参加するてんかん症例カンファレンスを週1回実施しており、今年度てんかん症例に関するカンファレンスは2月までで32回ほど実施された。参加者は現在11施設、延べ57名程となっており、てんかん診療に関わる複数科の医師らが集まり、意見交換やスキルアップを行う場を設けている。

また、研究活動も積極的に実施しており、令和6年度は厚生労働省科学研究「カンナビノイド医薬品とカンナビノイド製品の薬事監視」を実施している。

### 4. 今後の課題

神奈川県は人口922万人に比して専門医の数は少なくかつ偏在しており、未だ県内のてんかん医療の均てん化には課題を残している。また神奈川県内の専門医の診療科は53名中小児科34名、脳神経外科7名、脳神経内科8名、精神科4名と偏りがあり、大人を診る専門医の数は特に少ない。

横浜、川崎地区から離れた県央、県北、湘南地区からの相談は多く、今後も引き続き県内の医療連携体制の構築に力をいれ、てんかん患者が適切な医療を等しく受けられるような環境を検討し整備していく必要がある。

(資料3)

てんかんの研修会  
市民公開講座  
2024.11.23 (土・祝) 開場: 12:30  
13:00~16:00  
会場: 聖マリアンナ医科大学病院 3階大講堂  
後日オンデマンド配信実施予定(申込者限定)  
座長: 寺田 清人先生 会場アクセス  
(てんかんと発達連携の神経クリニック 院長)  
【研修会1】13:00~13:30 質疑応答13:30~13:45  
てんかんのある方々の雇用・就労  
①ご本人の要件、②企業側の要件、③支援者の要件  
【研修会2】13:50~14:30 質疑応答14:30~14:45  
難治てんかん診療におけるCBDの基本と実践  
【公開講座】15:00~15:45 質疑応答15:45~16:00  
てんかんの最新治療  
【申し込み】専用QRコード、ホームページからアクセスして申し込みください  
【お問い合わせ】聖マリアンナ医科大学病院 てんかんセンター  
担当: 石丸(月~金)9:00~17:00(祝日以外)  
電話: 044-977-8111(内線80605)  
神奈川てんかんセンター メール: tenkankouza@gmail.com  
難治てんかん患者さん個別相談会を会場にて実施します  
てんかん専門医による難治てんかん患者さんへの個別相談会を開催いたします  
完全無料 専用QRコードからアクセスして申し込みください  
10:00~12:00 数名程度 約1人15分程度 定員になり次第終了  
担当: 伊藤 進先生(聖マリアンナ医科大学 小児科 准教授)  
寺田 清人先生(聖マリアンナ医科大学 脳神経科 教授)

(資料4)

てんかんの研修会  
市民公開講座  
2025.3.16 (日) 13:00~15:15  
Zoomウェビナーオンライン開催  
後日オンデマンド配信実施予定(申込者限定)  
座長: 宮本 雄策先生  
(聖マリアンナ医科大学 小児科 教授 てんかんセンター 副センター長)  
【研修会】13:00~13:50 質疑応答13:50~14:00  
子どものてんかん Up-to-Date  
講師: 本井 宏尚先生  
(横浜市立大学 小児科 助教授/横浜市立大学 附属市民総合医療センター 小児総合医療センター)  
【公開講座】14:15~15:05 質疑応答15:05~15:15  
子どもの熱性けいれん、てんかんと日常生活、園・学校生活  
～学会作成のけいれんと意識混濁時のフローチャート、生活指導を含め～  
講師: 伊藤 進先生  
(東京女子医科大学 小児科 准教授/東京女子医科大学病院 小児科)  
【申し込み】専用QRコード、ホームページからアクセスして申し込みください  
【お問い合わせ】聖マリアンナ医科大学病院 てんかんセンター  
担当: 石丸(月~金)9:00~17:00(祝日以外)  
電話: 044-977-8111(内線80605)  
神奈川てんかんセンター メール: tenkankouza@gmail.com  
難治てんかん患者さん個別相談会をWEBにて実施します  
てんかん専門医による難治てんかん患者さんへの個別相談会を開催いたします  
完全無料 専用QRコードからアクセスして申し込みください  
10:00~12:00 数名程度 約1人15分程度 定員になり次第終了  
担当: 伊藤 進先生(聖マリアンナ医科大学 小児科 准教授)  
寺田 清人先生(聖マリアンナ医科大学 脳神経科 教授)

(資料5)

Purple Day Light up Project 2025  
SNSで盛り上げよう!  
1. 19日 横浜 2. 20日 川崎 3. 21日 横浜 4. 22日 横浜 5. 23日 横浜 6. 24日 横浜 7. 25日 横浜  
3月26日はてんかんの啓発キャンペーン  
「パープルデー」です  
ライトアップしててんかんの方の応援の気持ちを伝えよう  
check! →  
【当日イベント】  
1. 横浜 3/19~27 日没から日の出まで  
2. 神奈川県庁舎 3/19~26 18時~20時  
3. 川崎 3/19~27 日没から日の出まで  
4. 横浜市民会館 3/19~26 18時~22時  
5. 江の島マリンタワー 3/19~26 日没~22時  
6. 大宮職員舎 3/19~26 日没~20時  
7. 川崎市民会館 3/19~26 日没~22時  
ライトアップの写真を撮影したら、神奈川てんかん医療・社会連携協議会 (@tenkankouza) のアカウントでシェアし、100万回以上「神奈川県内」をつけてエクスに投稿しよう!  
神奈川県では、今年度からパープルデーを推進する体制を整備しています。check!  
主催: 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 教授 寺田 清人先生  
協賛: 聖マリアンナ医科大学 小児科 准教授 伊藤 進先生  
お問い合わせ: 聖マリアンナ医科大学 脳神経科 教授 寺田 清人先生 電話: 044-977-8111(内線80605)

てんかん医療・社会連携協議会構成

(表1)

		所属先・推薦団体等	役職（職種等）
1	拠点機関	聖マリアンナ医科大学病院	教授・脳神経外科 てんかんセンター副センター長
2		聖マリアンナ医科大学病院	教授・小児科医長 てんかんセンター 副センター長
3		聖マリアンナ医科大学病院	主任教授・小児科 てんかんセンター センター長
4		聖マリアンナ医科大学病院	主任教授・脳神経内科 てんかんセンター 副センター長
5		川崎市立多摩病院	教授・小児科部長
6	てんかん診療に関わる医療従事者	鎌倉療育医療センター小さき花の園	小児神経科
7		日本医科大学武蔵小杉病院	病院教授・精神科
8		神奈川県立こども医療センター	神経内科部長
9		重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎	副施設長・小児科
10		横浜医療福祉センター港南	診療支援部長
11		横浜市立大学附属病院	神経内科学・脳卒中医学助教 神経内科・脳卒中科
12		てんかんと発達横浜みのる 神経クリニック	院長
13		北里大学病院	講師・小児科
14		原クリニック	院長
15		東海大学医学部付属病院	講師・脳神経内科
16	神奈川県医師会	理事	
17	神奈川県労働局 職業対策課	地方障害者雇用担当官	
18	てんかん診療支援コーディネーター (聖マリアンナ医科大学病院)	社会福祉士	
19	当事者・家族	日本てんかん協会	当事者
20		日本てんかん協会	家族
21	「てんかん診療支援センター」等 （てんかん診療支援センター等）	神奈川県健康医療局保健医療部	精神保健医療担当課長
22		川崎市総合リハビリテーション推進センター	所長
23		川崎市健康福祉局障害保健福祉部精神保健課	課長
24		横浜市健康福祉局障害福祉保健部 精神保健福祉課	課長
25		相模原市健康福祉局地域包括ケア推進部 精神保健福祉課	課長